

開智



心ゆたかで かしくく たくましい子

発行者 小山市立萱橋小学校長 大石 成美

3月24日の修了式をもちまして、本年度の教育活動すべてが終了します。本校教育活動へのご理解とご支援に対し、心より感謝申し上げます。学校生活に前向きに取り組んでいる子ども達の姿に職員一同たくさんエネルギーをもらって来ました。



保護者の皆様にも学校と共にお子様の教育に取り組んでいただき、ありがとうございました。春休みも引き続き、子ども達の安心、安全のためのご指導をよろしくお願いいたします。



1年生	130回(新記録)
2年生	139回(新記録)
3年生	243回(新記録)
4年生	154回
5年生	206回
6年生	218回

1~3年生は、先生が長なわを回します。4~6年生は、自分たちで回す人を決めて、回します。4~6年生も新記録まで、もう少しでした。

みんなとてもよくがんばりました。

郷土学習

2月4日

3年生が、市立博物館からお二人の先生にお越しいたいただき、出前授業「郷土学習」をしました。

はじめに昔の道具について詳しく教えていただきました。初めて見る道具や教科書などに載っている道具に興味津々。熱心にメモを取りながら、説明



を聞いていました。説明の後、石臼で大豆を挽く体験をしたり、昔の道具を見学したりしました。今と昔の道具の違いや、昔の人たちの知恵や工夫について考える貴重な機会になりました。



長なわ大会

2月5日

ロング昼休みをつかって長なわ大会を行いました。各クラス一斉に8の字跳びを行います。3分間の合計回数。2回実施して、良い方が記録になります。

はじめのころは、歴代の記録には全く及びませんでしたが、だんだん力をつけていきました。

授業参観

2月14日

今年度、最後の授業参観でした。1年間のまとめの時期でもありますので、学習したことや調べたことを発表する授業を公開する学年が多く、タブレットを活用するなど工夫を凝らして準備をしたり、練習をしたりしていました。

いつもと変わらずがんばっている子、いつも以上に張り切っている子、少々緊張気味の子など、それぞれにがんばっている姿を学校運営協議会委員やたくさんの保護者の方に参観していただくことができました。



金銭教育

2月21日

フィンクスから講師をおまねきして、1・2年生、3・4年生にわかれて「お金について考えよう」の講話を聞きました。

ご家庭では、お年玉をどのように管理していますか？ゲームセンターなどでは、いくらぐらいつかってもいいことになっていますか？

子ども達は、いろいろな方からお小遣いをいただきます。



まずは「今欲しいもの」を考え「そのためには、どうしたらいいか」具体的にシミュレーションしました。

おこづかい帳についても学びました。お金に対して、いただいた方への感謝の気持ちを忘れずに、計画的に使うことができる子どもたちになってほしいですね。

卒業を祝う会 2月26日

児童会行事として「卒業を祝う会」を行いました。今までお世話になった6年生に感謝の気持ちを表し、楽しい思い出をつくるとともに、萱橋小の伝統を受け継いでいこうとする意欲を高めることをねらいとして、5年生を中心に準備をしました。



はじめに校内で、縦割りのチーム萱っ子で「宝探し」を行いました。宝は、6年生へのプレゼントでした。次に外に出て『逃走中』のようなおにごっこをし



ました。ハンター役の人がみんなを追いかけ回し、牢屋にいられます。6年生がクイズに正解すると解放されるルールです。

一生懸命に走る姿、互いに声援を送り合う姿、笑顔で楽しんでいる姿に、とても感激しました。

最後に、代表児童が6年生にお礼の気持ちを込めたはなむけの言葉を贈り、6年生一人一人から、在校生に対して、エールが贈られました。お天気にも恵まれ、思い出に残る会になりました。

卒業式 3月18日

今年度の卒業生は18名。中学校の制服等に身を包み、列席者は、卒業生、在校生全員、教職員、保護者、学校運営協議会委員のみなさまです。厳肅な雰囲気の中、心に残る卒業式になりました。

教室の廊下には、各学年からの心温まる掲示物が飾られ、学校全体がお祝いムードに包まれていました。



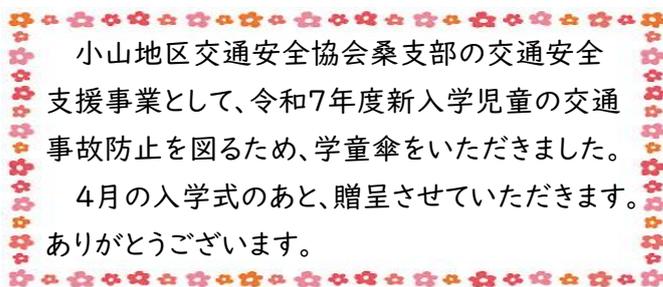
◆式辞(抜粋)

伝統ある萱橋小学校を巣立つ18名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。一人一人に小学校教育の課程をすべて修了し、萱橋小学校を卒業したという証である卒業証書を手渡しました。胸を張って大きな声で返事をし、卒業証書を受け取る姿に、大きな成長と中学校へ巣立つ誇らしさを感じました。6年間よくがんばりましたね。



ウサギとカメのお話のカメのような生き方が、すばらしい日本の伝統と文化を育ててきました。「休むことなく

努力すべし」これが昔からの教えでもあります。これから生きていく中で、楽をしてうまくいくほどあまいものではありません。また、努力したからといって、うまくいくほど簡単なものでもありません。でも、努力を続ければ、その先に明かりが見えてくるはずですよ。苦しいときや悲しいときには、萱橋小学校での楽しかった一コマを思い出して乗り越えてください。みなさんのこれからの人生に幸せが多いことを願っています。ご卒業おめでとうございます。



小山地区交通安全協会桑支部の交通安全支援事業として、令和7年度新入学児童の交通事故防止を図るため、学童傘をいただきました。

4月の入学式のあと、贈呈させていただきます。ありがとうございます。

修了式を迎え、令和6年度を無事に終えることができることを大変うれしく思います。

今年1年、PTA会長様をはじめ、PTA役員の皆様、保護者の皆様、各種ボランティアの皆様、地域の皆様には、多大なるご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

